



ひょうごローズクラブ
Hyogo Rose Club

Scent of Roses

バラの香り

<http://www.rosehyogo.jp>

活動報告

奥深いバラの世界

ひょうごのバラ園「明石公園」

連載「世界の文献に見るバラの話」

1

4

5

6

表紙のバラ「ティラミス」

第6号
2010.1



ひょうごローズクラブも設立から3年目を迎え、本年度も様々な活動をおこなってきました。平成21年12月末までの主な活動内容をご紹介します。

ひょうごローズクラブ総会・記念講演会

7月25日(土)に、湊川神社 楠公会館で、平成21年度総会と記念講演会を開催しました。今年の総会は、当初5月に兵庫県公館で行う予定でしたが、新型インフルエンザの流行のためやむを得ず真夏の開催となりました。

会場には兵庫県内で生産されている切り花用バラ約60品種が展示され、会員をはじめとするバラ愛好家ら約230名の参加者は、盛夏の中、気高く優雅に咲き誇る色とりどりのバラを堪能しました。その他、兵庫県内のバラ園を紹介するパネル、バラの肥料や農薬を展示し、今年度は新たに専門家による園芸相談コーナーも設けました。

総会は、ソプラノとピアノによるミニコンサートで始まり、来賓として出席いただいた井戸敏三兵庫県知事にご祝辞をいただきました。



総会議事は、平成20年度活動報告、決算、平成21年度事業計画などが提案され総て原案どおり承認されました。

総会後に行われた記念講演会は、NHK「趣味の園芸」を長年にわたり担当され、現在NHK「ラジオ深夜便」のアンカーや園芸キャスターとして活躍の須磨佳津江さんと神戸布引ハーブ園副園長の星川雅子さんによる記念講演がありました。

須磨さんは、「各地のバラの庭での試み」と題して、長年にわたる全国のオープンガーデンの取材をもとに、各地の工夫をこらした美しいオープンガーデンを紹介しながら、花と人との関わりの豊かさや効用、そして社会を変える可能性などを巧みな話術と華やかな笑顔でお話しされ、参加者の心を魅了しました。

星川さんは、土作りから、栽培、乾燥の技術まで研究され、独自のノウハウで作られた良質の色と香りを持つ乾燥バラとハーブを示しながら、その魅力と活用法について「バラとハーブ良質の色と香りのハーモニー」と題した講演の中でお話しいただきました。



栽培講習会

バラの栽培管理を集中的に学ぶバラの達人講座を県立播磨中央公園との共催で7月～9月に計5回開催し、21名の方にひょうごローズクラブから修了証を交付しました。その他明石公園などで計4回の剪定講習会を実施しました。



講習会

「バラの香りを楽しむ」
「バラの香油とクリームをつくる」

開催日…平成21年10月17日(土)

場 所…あいあいパーク集会室(宝塚市)

講 師…山本 淑子氏

(山本淑子アロマセラピストスクール校長)

自然の香りを生活に取り入れてストレスを解消し、心身をリラックスさせる香りの効能を、映像を交えながら具体的に解説していただき、さらに香油とクリームを作成しました。長年アロマの研究をされている山本先生の実績に裏付けされたお話は説得力があり、健康と美容に関心の深い受講者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。



比叡山・守山視察研修旅行

開催日：平成21年10月24日(土)

視察先：ガーデンミュージアム比叡

もりやまバラ・ハーブ園

はるかに琵琶湖や京都市街地を望むガーデンミュージアム比叡では、ガーデンナーの案内で、バラやコスモス、タリア、セイジなど草花の間に、モネやゴッホなど陶板のフランス印象派絵画が随所に展示された庭園内を散策しました。標高が840mあり、冷え冷えとした空気の中で紅葉も始まっていました。もりやまバラ・ハーブ園では、約3000m²の土地に82品種1800本のバラが植栽されています。今回はあまり咲いていませんでしたが、ベゴニア温室で100品種あまりの色鮮やかなベゴニアを鑑賞したり、香りの温室で珍しいハーブの香りを体験したりして楽しみました。帰り際に園内の販売所でバラの苗木を購入されている光景も見られました。

総勢68名の皆さんが秋の一日を満喫しました。



講習会

「プリザーブドフラワー教室」

「クリスマス用壁飾りをつくる」

開催日：平成21年11月11日(水)

場所：神戸市立須磨離宮公園

講師：平尾 ひろ子氏(フラワーコーディネーター)

プリザーブドフラワーは、枯れない、生花に比べて軽いなどの点が注目され、ウエディングブーケやリースの飾りなどとして女性にたいへん人気です。

短く切った二色の小枝を重ね合わせた木枠に深紅のバラのプリザーブドフラワーとリーフをあしらひ、ところどころにパールを配置して、クリスマスからお正月まで玄関を華やかに演出するリースを仕上げました。

とても豪華で鮮やかな作品の出来映えに、参加者の皆さんの笑顔がこぼれました。

講習会

「色と香りのメッセージ」

「フレグランスボックスづくり」

開催日：平成21年11月21日(土)

場所：神戸布引ハーブ園

講師：星川 雅子氏(神戸布引ハーブ園副園長)

紅葉たけなわの神戸布引ハーブ園で、副園長の星川雅子さんに乾燥ハーブと乾燥バラの魅力と活用法を教えていただきました。

星川さん自らが乾燥させたローズマリー、オーデコロンミントなど数種類のハーブを、プラスチック容器に層状に敷き詰め、最後に乾燥バラで表面を覆い、フレグランスボックスが完成しました。「層にすることでそれぞれの香りを引き出し、良質の色と香りのハーモニーが楽しめます」と星川さん。制作の間にはローズティーや熱処理されたバラの花びらを試食させていただきました。和気あいあいとした雰囲気でした。

星川さんの経験とひらめきから生まれた、ハーブをとことん利用するためのアイデアもたくさん披露していただき、有意義で楽しいひとときになりました。



園芸コンサルタントとして関西地方を中心に、バラ園の企画計画から管理まで手がけられている藤岡友宏さんにお話をうかがいました。

奥深いバラの世界

その6

さわやかに空気の澄んだ晩秋の二日、西宮市北部の丘陵地にある西宮市北山緑化植物園で、園芸相談をされている藤岡友宏さんを訪ねました。藤岡さんはひょうごローズクラブの理事で、設立総会の際にも「秋にきれいに咲かせるために」というテーマで講演をさせていただきました。皆様もよくご存じの兵庫県バラ界の重鎮です。

園芸に興味を惹かれ始めた頃のお話をお聞かせ下さい。

父親が花好きで、300坪の庭を花壇にしてみました。その影響で園芸に興味を持つようになりました。

高校1年の時に神戸市内の園芸店でアルバイトを始め、配達や仕入れの他に花の手入れの方法も教えて貰いました。

バラの他にキクや水仙、洋蘭にも興味があったので、大阪府立大学農学部(当時は浪速大学)に進学後、それぞれの大家の所に向いて直接話を伺いました。その中でバラを勧められ、伊丹にあった日本ばら会関西支部の試作場でアルバイトを始め、バラの世界に入っていました。

そこでは接ぎ木をして苗を作り、会員に配布したり、品種のリスト作りを手伝ったのです。

バラの世界に入られて如何でしたか。

大学を卒業し、日本ばら会関西支部に就職しました。そこでは寺西菊雄さん*が育種や育苗を私が会報の編集やばら会の運営などを担当し、新品種の導入や一時独立した新日本ばら会が発展のために、スライドを持つて全国行脚し、そうしたバラを通じた活動の中で、園芸関係者だけでなく、資産家や画家、研究者等様々な分野の方と交流が持てたことは私の半生の中で大きな収穫でした。ばら会の試作場が後に伊丹バラ園になりました。

その後日本で最初の園芸コンサルタントとして独立し、40年近くになります。ばら会で学んだ経験を生かして、バラ園作り、栽培のアドバイスや趣味の会などの講習、NHKなどの多くの栽培書を出版することが出来ました。

バラ愛好家へアドバイス下さい。

農業をむやみに怖がる傾向がありますが、取り扱いをきちんと守れば、家庭用殺虫剤より安全です。バラ栽培の基礎知識を身につけて、手間暇を惜しまず育てて下さい。

これからどのようにバラと関わっていききたいですか。

輸入されたバラや国内で育種された新品種を見て、将来どれが残るのかを見極めるのが楽しみです。また、バラ業界の新しい産業やバイオへの広がりに期待しています。

バラの中ではパパ・メイヤンが好きです。濃い黒紅色のバラですが、花卉の表面の凸凹により、目の錯覚で黒っぽく見えます。最近育種を始めましたが、より黒く、より香りの強い、パパ・メイヤンを超える品種を作りたいと思っています。

お世話になったお礼に、とても丈夫な品種を作つて地元に残したいですね。

*寺西菊雄さん ひょうごローズクラブ理事
詳しくは会報第2号をご参照ください。

藤岡友宏さん 園芸相談のご紹介

西宮市北山緑化植物園 (TEL 0798-72-9387)
第1,3,5木曜、第3日曜、第4,5土曜 正午から午後4時まで



ひょうごのバラ園
クローズアップ

明石公園



県立明石公園は、明治16年に明石城址を中心に私設明石公園として開園し、その後宮内省の管轄を経て大正7年に県立公園となりました。現在残っている巽櫓と坤櫓は昭和32年に国の重要文化財に指定され、また明石城址を中心とした公園の南半分は、平成16年に国の史跡指定を受け、同18年には、日本の歴史公園100選にも選定されています。

一方、昭和6年に野球場が、そして戦後には陸上競技場やテニスコート、球技場・自転車競技場、第2野球場、ローンボウルスコートが建設され、歴史文化公園的な静の面だけでなく、県下屈指の総合運動公園的な動の面も併せ持つ広域公園として、年間276万人（平成20年）が来園されています。

東芝生広場にあるバラ園は約400㎡あり、「ホワイトクリスマス」や「ジュビレデュプリンスドゥモナコ」、「ファーストブラッシュ」などのハイブリッドティー系や「アンダルシアン」や「アイスバーグ」などのフロリバンダ系、「プライドインジョイ」や「アルバメイアンディナ」などのミニチュア系など、23品種約600本のバラが植えられています。明石城址を有する和の風情を持つ公園であることから、日本で作出された品種である「浮雲」や「うらら」も植えられています。見ごろは5～6月の初夏と10～11月の秋が中心で、その時期には赤や桃、黄色、橙、白などの色とりどりの花が咲き乱れます。以前は現在の武蔵の庭園がある位置にありましたが、明石城に由来のある宮本武蔵にちなんで園内に武蔵の庭園を造る計画が出されたことに伴い平成15年に現在の場所に移設されました。

明石公園はまた、日本さくらの名所100選にも選ばれており、またモミジやイチョウ、ハゼノキなど様々な落葉樹が点在していることから、秋の紅葉も是非お楽しみ下さい。



うらら 1995 日本



ジュビレデュプリンスドゥモナコ 2000 フランス

『イギリス庭園のバラ』Roses for English Garden,

Gertrude Jekyll & Edward Mawley Country Life, London 1902

連載
第6回

世界の文献にみるバラの話

兵庫県立淡路景観園芸学校
主任景観園芸専門員 能勢 健吉



ローズ・ガーデンのシュラブとブッシュのバラ

1 バラの剪定・仕立て方からの分類

剪定や仕立て方を見てみると現在も見られる栽培法がほとんど見られる。写真からわかる剪定・仕立て方は次のとおりである。

- ①無剪定シュラブ、ブッシュ
(自由に茎を伸ばす)
- ②剪定ブッシュ
(整枝・剪定するブッシュ)
- ③スタンダード仕立て
(長く直立して伸ばした茎の先のボールに植物を茂らす)
- ④傘状仕立て
(傘の様な型に仕立てる)
- ⑤球体仕立て(数株のツルバラで大きな球体に仕立てる)
- ⑥球体仕立てのバラ



③スタンダード仕立てのバラ



⑥球体仕立てのバラ

2 庭園での植栽分類

写真からわかる庭園での植栽法は次のとおりである。シュラブローズやツルバラの植栽例が目立つ。



①壁と戸にかかるツルバラ

2-1 建造物周辺植栽

- ①壁面誘引
(アーツ&クラフツの影響で壁面にバラを這わせる。)
- ②建物の基部植え
(建物の下部に植栽する。)



②建物基部 foundation plantingのバラ

2-2 ガーデン植栽

- ①ローズ・ベッド、ローズ・ガーデン(バラで作る庭園)
- ②ボーダー(園路沿いにつくる境栽歌壇)
- ③ベンチの日覆い(バラで作る屋根)
- ④柱状仕立て
- ⑤スクリーン仕立て(スクリーン状に誘引する。)
- ⑥アーチ仕立て 連結アーチ仕立て
- ⑦パーゴラ誘引
- ⑧ガーランド誘引(たわんだガーランドに誘引する。)
- ⑨トンネル
- ⑩木に絡む 小屋を包む 枯れ木に登る(誘引してからませる)
- ⑪ヘッジ(厚みのある生垣をつくる。)
- ⑫グラウンドカバー植栽(這性バラで地面を覆う。)



⑦パーゴラのツルバラ写真



④草花ボーダーの柱状仕立てのバラ



⑫グラウンドカバーのテリハノイバラ

ガートルード・ジークル Gertrude Jekyll はウィリアム・ロビンソン William Robinson と並んで多数の著作があり、現在のガーデニングへの貢献は計り知れないものがある。ジークルの著作の中でもバラを中心に書かれた本著はバラやガーデニングの愛好家にとっては貴重な三冊であろう。20世紀を迎え、次々と新品種が開発された当時の様子が生き活きと描かれている。この著作ではバラはガーデン用が中心である。

第二章では庭植えのバラの新旧品種や原種の紹介をしている。中でも特徴的なのは、我々に馴染みのあるアジアのバラが導入され育種に使われたことである。中国からのチャイナ・ローズ数種、モッコウバラ、日本からはノイバラ、テリハノイバラ、ハマナスなどが導入され、その

結果新しい品種が生み出されている。

第二章では植え付け方、刈り込み法、繁殖、飾り方や展示法、ガラス温室での育て方など様々なバラの栽培法の説明がなされている。

この著作で重要なのは当時の栽培方法が写真を通じて我々に伝えられたことであろう。口絵や挿入写真に見る仕立て方や植栽法が良くわかる。アーチ、柱状仕立て、ガーランド、スタンダード仕立て、のり面緑化等、現在でもみられる仕立て方や利用法のほとんどが見られる。現在ではあまり見慣れない仕立て方や栽培方法もある。現代に応用するヒントになれば幸いである。